

令和5年3月24日(金)

出席者：卒園児保護者代表 植田さん 在園児保護者代表 西浦さん
園長 石田
記録：石田

令和4年度第2回施設関係者評価委員会

10周年記念について5月27日(土)10:00~15:00

卒園児ほか関係者の方に是非参加してほしい。
保護者会会長より、保護者会でも盛り上げていきたい。

○令和4年度事業計画振り返り

園長より：保育教諭の質の向上をしていけるよう努力している



子ども理解につながっていくとよいと思っている

(地域貢献) 子育て支援では、園庭開放(食事提供)は進めているが、姉妹園に比べるとまだ十分とは言えない。今後の課題としてどのようなことができるか考えていきたい。 → 小学校との接続につなげてほしい。

保護者より：保護者参観や小中学生の保育体験はありがたかった。

ぜひ続けてほしい。園の対応と小学校の対応とのギャップが大きいと感じる。親も子も初めての環境の変化にすごく戸惑いと不安を感じた。大人たちがどのようにつながっているのか？

親の思いを聞いてもらう場所が欲しい。

園に来るとほっとする。卒園すると何か園からアクションがあると来やすい。園で定期的に集まれる会があると嬉しい。

園長：園で楽しい体験をして保育の仕事や福祉の仕事に関心を持ってもらえたらという気持ちと自分が子育てをするときに園での様子を「こうだったな」「泣いているときは先生たちこうしていたな」などと思い出してもらえたら嬉しい。祖父母参観では、お孫さんがこの園でどのように過ごしているか見てもらえてよかった。保育体験、保育参加、保育参観などを通してみんなが、子育てに関心を持ってくれたらと思う。そして子育て支援

につなげていけたらと思う。

○子ども哲学、2歳児の取り組みについて…一人ひとりの意思を尊重しながら言葉で伝えることの喜びを感じてもらえた。対話は難しいが、「なにがすき」等簡単な問いかけに答え会話につなげて、楽しい時間が過ごせた。

○命の推進事業について

○自己評価について説明する。

できないところだけでなくできているところに視点を置き前向きに考えていきたい。